

2450MHzインピーダンスモニタ

IMP-2008-2450

本装置は、マイクロ波伝送線路の発振装置と負荷の部分に挿入し、プラズマ等の負荷インピーダンスをリアルタイムに監視するモニタ装置です。インピーダンスの表示形式として反射係数 Γ 、VSWR及び位相 θ を測定し、パーソナルコンピュータにチャート表示させることができます。



制御部
IMP-2008-2450-CONT



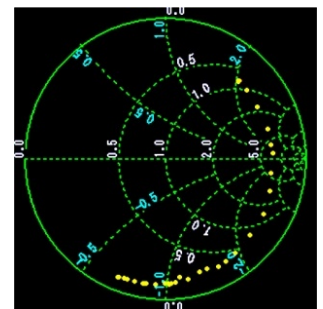
2450MHz偏平タイプ検出部
IMP-2008-2450-96X27



2450MHzシステム接続例

構成

構成品	形式	数量	備考
検出部	IMP-2008-2450-96X27	1	
制御部	IMP-2008-2450-CONT	1	
RS-232Cケーブル	W100	1	ケーブル長をご指定下さい
制御ケーブル	W200	1	ケーブル長をご指定下さい
ACアダプタ		1	DC5V, 2A
PC表示ソフト		1	Windows PCは別途ご用意ください
取扱説明書		1	



スミスチャート表示例

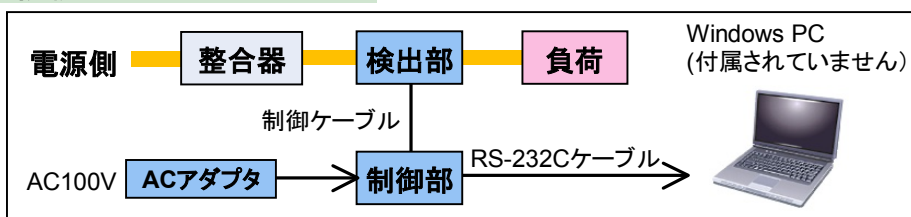
仕様

項目	仕様	備考
周波数範囲	2450±10MHz	
定格電力	5kW(CW)	
導波管	2GHz偏平導波管(96X27mm)	
フランジ	TBR-2A2相当	
測定範囲	負荷VSWR1.1-10(全位相)	
測定表示項目	反射係数 Γ 、VSWR、位相 θ 、又は正規インピーダンス $R[\Omega]$ 、 $jX[\Omega]$	
測定データサンプリング間隔	0.1-60sec.	
データ保存形式	CSVファイル形式	
表示方法	スミスチャート、ガンマPhaseチャート	
測定誤差	反射係数	±0.05 TYP
	位相	±3° TYP (VSWR1.1以上に於いて)
対応OS	Windows 2000, XP	
制御 I/F	シリアルインターフェース(RS-232C Dsub 9pinコネクタ)	USB2/RS-232C変換器使用可
電源	入力 AC100V 50/60Hz 出力 DC5V, 2A	ACアダプタ使用

特徴

1. 実負荷時のインピーダンスがリアルタイムに測定できます。
2. 測定値をチャート上にプロットするので問題発生時の解析が容易にできます。
3. 負荷への入射電力を測定できます。
4. サンプリングしたインピーダンス値をPC上にCSVファイル形式で保存できます。

接続例



- 注1. 機能アップのため、予告なく仕様変更する場合があります。
 注2. PCは付属していません。
 注3. 他の周波数、導波管、同軸サイズについてはお問い合わせください。

The Future of Wave Technology



日本高周波株式会社

〒226-0011 横浜市緑区中山町1119
 電話 045-939-6961
 Fax. 045-932-1900
 Email sales@nikoha.co.jp
 URL <http://www.nikoha.co.jp/>